

決算に関する質疑



市民で賑わうツバメルシェ in 燕市交通公園

まちなかにぎわい創出支援事業
543万7387円

問 ツバメルシェを6回開催しているが、本来の目的である商店街活性化と関係のない場所も多く、また、出店者の固定化も見られるが。

答 イベントにタイアップして開催しているものも事実は、チラシに出店者のお店の住所などを入れるなど、日常のお店への誘致も進むよう工夫をしている。固定化が見られる一方で新しい出店も増えている。

臨時福祉給付金事業
1億5714万9426円

問 対象者数と決定した人数はどうだったのか。

答 イベントにタイアップして開催しているものも事実は、チラシに出店者のお店の住所などを入れるなど、日常のお店への誘致も進むよう工夫をしている。固定化が見られる一方で新しい出店も増えている。

答 1万3193名に申請用紙を郵送している。申請書を提出してもらい検討した結果、1万592名に支給した。なお、提出されなかった人もいる。

交通安全推進事業
1431万3808円

問 高齢者運転免許自主返納支援事業(224人使用済利用券代63万1000円)について、自主返納者224人の内訳は。

答 男性は60代で5人、70代45人、80代70人、90代1人で計99人である。

使用済利用券代というのは、市から返納者に、タクシー利用券5000円(500円×10枚綴)、きららん号利用券3000円(300円×10枚綴)、スワロ一号利用券1000円(100円×10枚綴)の中から組み合わせは自由で1万円分を進呈したものである。

この中から使用した分は市のほうへ業者から請求がくる。それが63万1000円で未使用分は27年度分として利用できる。



陸上の中村哲郎監督に指導を受ける

燕キャプテンミーティング
22万円

問 中学1・2年生を対象に3日間で100名の参加者があったそうだが、男女比は。また具体的な指導について。

答 中学校の部活動リーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月24日から26日まで、講演やコミュニケーション活動などを実施した。「夢先生」として、初日は日本サッカー協会から、2日目は日本文理高校の池田キャプテンを3日目は陸上の中村監督に指導していただいた。参加者の内訳は男子生徒38人、女子生徒16人であった。

縁結びサークル
育成事業
44万8630円

問 結婚を希望している男女への波及効果について。

答 縁結びコーディネーター育成の取り組みとして、社会教育委員会を中心に2回の研修会を開催した。参加者のうち13人にコーディネーターになってもらい、サークルを立ち上げた。活動としては月1回のパーティーで10〜20人の参加者があり、カップルの成立は50%を超えている。

多面的機能支払交付金事業
8283万1315円

問 どのくらいの地区がどのような取り組みを行ったのか。

答 農業・農村地域の共同活動を支援する事業として、農地法面の草刈りや水路の泥上げなどに62組織、水路や農地等の施設の補修などに61組織、老朽化が進む施設の長寿命化のために45組織が交付を受けた。

Jack&Betty
プロジェクト
2951万1420円

問 英語教育の成果は。

答 NRT学力検査の結果(中3)では、英語が25年度47.9から26年度は50.2と2.3ポイント上昇し、英語の学力は向上している。

問 英語検定5級に合格することを推奨しているが。

答 Jack&Betty教室を小5〜中3を対象に年間25回開催し、91人が参加した。5級合格者は受験者の50%、4級は受験者の41%が合格した。3級合格者も出ている。

イキイキまちづくり
事業助成金
121万7000円

問 申請されたもの全てに交付しているが、団体数と審査について。

答 申し込み数は7団体で9事業である。参加団体からの提案内容について、50%以上の採点で交付決定をした。

要保護児童等対策事業
585万3197円

問 虐待通告数・内訳として、25年度は46件(人)が26年度は新規87件、継続44件で計131件(人)と増加している。継続が44件ということは、前年度46件がほとんど改善されていない。相談体制として、人員の配置が適切とは思えないが。

答 当初、家庭児童相談嘱託員を2人配置し、相談に当たっていたが、相談体制の充実のため、年度途中の12月から2人追加した。この人件費は総務課から支出されている。



イキイキまちづくり審査風景

決算の特徴

歳入歳出差引額 13億7,726万160円	純繰越金 12億4,880万3,480円	翌年度へ繰り越すべき財源 1億2,845万6,680円
歳入総額 411億 3,635万9,494円	歳出総額 397億 5,909万9,334円	前年度比9.1%増 (+33億2,612万4,315円)
前年度比9.1%増 (+34億4,039万8,738円)		
増減した主なもの(歳入)	増減した主なもの(歳出)	
地方消費税交付金 26年度 10億3,101万5,000円 (+1億6,783万9,000円) 25年度 8億6,317万6,000円	民生費 26年度 103億3,653万7,000円 (+1億2,420万3,000円) 25年度 102億1,233万4,000円	
自動車取得税交付金 26年度 4,547万6,000円 (▲4,929万3,000円) 25年度 9,476万9,000円	商工費 26年度 23億5,316万4,000円 (▲5億6,625万5,000円) 25年度 29億1,941万9,000円	
地方交付税 26年度 67億5,292万1,000円 (+2億2,023万円) 25年度 65億3,269万1,000円	土木費 26年度 45億7,392万9,000円 (+6億6,339万8,000円) 25年度 39億1,053万1,000円	
寄付金 26年度 2億1,455万0,000円 (+2億175万3,000円) 25年度 1,279万7,000円	教育費 26年度 55億2,356万1,000円 (+14億845万円) 25年度 41億1,511万1,000円	

ゼンネット・クラブ・ドリテスカ?

【用語解説】※NRT学力検査：相対評価法による検査。「確かな学力」について、全国基準に照らして客観的に把握する。指導対策や個々に対応する個人内評価としても活用できる。※要保護児童：児童福祉法に基づいて保護を要すると定められた児童。保護者のいない児童、保護者に監護させることが不適当な児童などが含まれる。